

横浜ナザレ保育園・
ナザレ幼稚園での年間を
通しての
シェアリングネイチャー
の取り組み

発表者

共同発表者

井上 満

中里 裕子・去田ゆかり



本日の目次



①活動に至る経緯



②活動目標



③園との協力と担当者との
連絡（含む安全面、当日の
事前連絡）



④年間活動一覧



⑤フィールドの様子・活動の様
子



⑥カランコ山でできたアレンジア活
動



⑦成果と課題

活動に至る経緯





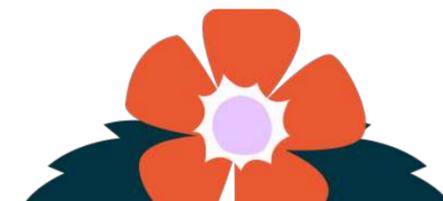
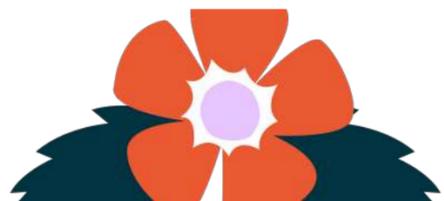
活動目標

2023 年度ナザレ幼稚園 カランコ山お山の活動 年間目標

	春	秋	冬
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の自然に自ら関わり、自然の豊かさに気づく ・お友達とおやまで遊ぶことで、頑張る力、考える力、表現する力を養う。 		
年少 (慣れる)	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の生き物を見つけよう あり、ちょう、かたつむり…。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の宝物を見つけよう 色、形、葉っぱ、どんぐり、木の実 	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の自然と遊ぼう 木、葉っぱ、木の実、花、土、虫、
	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の自然に興味や関心を持つ 		
年中 (遊ぶ)	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の生き物と遊ぼう 	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の宝物で遊ぼう 	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の自然と仲良しになろう
	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の自然に自分から関わる 		
年長 (創る)	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の生き物と遊ぼう 	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の宝物で遊ぼう 	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の自然にお礼をしよう
	<ul style="list-style-type: none"> ・お山の自然を使って遊びを創る 		

お山活動で育てたい姿（卒園するまでに育てたい10の姿のうち）

- 1, 健康な心と体 2, 自立心 3, 協同性 4, 道徳性・規範意識の芽生え 6, 思考力の芽生え 7, 自然との関わり・生命尊重
9, 言葉による伝え合い 10, 豊かな感性と表現

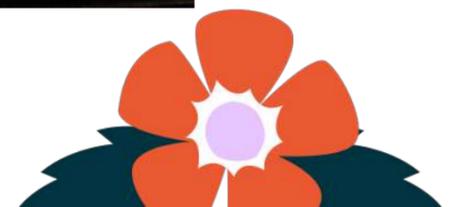
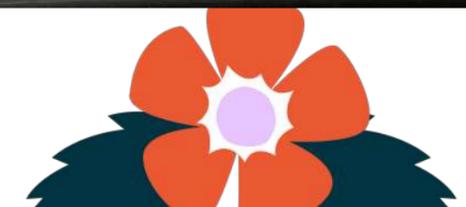


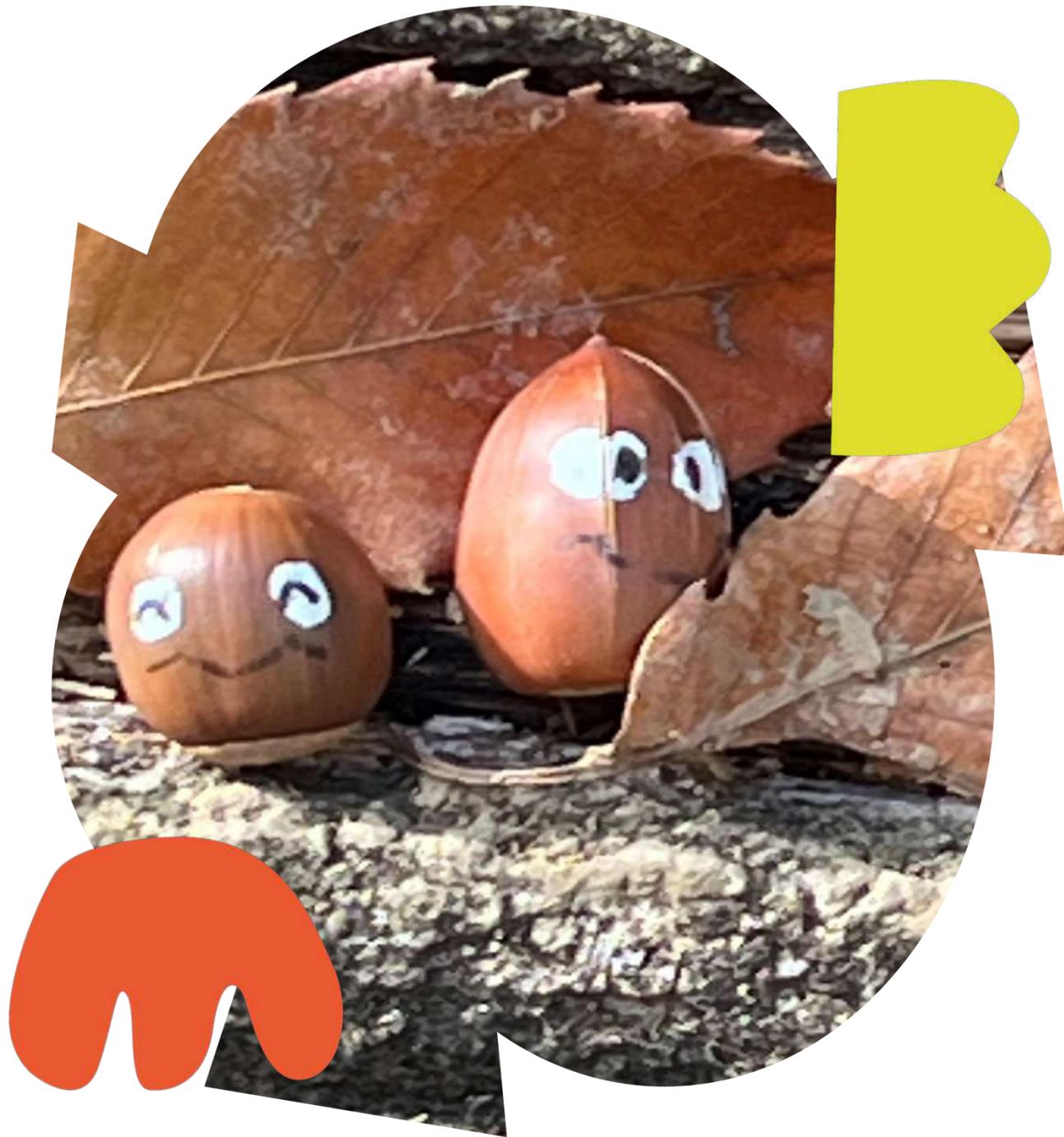
園との協力と担当者との連絡
(含む安全面、当日の事前連絡)

- ・メールでの事前のやりとり
- ・電話での確認
(天候による活動場所の変更など)
- ・書類での確認

<耳中> お山の生き物を探してみよう
 <耳長> お山の自然を使って遊びを創る

	6/15(水)	6/23(木)	6/29(水)		7/13(水)
10:30 S	サンフラ (15人)	10:00 S なにし (12人)	なにし (12人)		10:30 S
11:10		10:40 S ふいぞう (13人)	ふいぞう (13人)		11:10 S パイリス (15人)
11:10 S	パイリス (15人)	10:40 S うさぎ (19人)	ぞう (27人)		11:10 S
11:50		11:20 S			11:50 S サンフラ (15人)
11:50 S	フーリャ (20人)	11:20 S	リス (21人)		11:50 S
12:30		12:00 S	くま (26人)		12:30 S フーリャ (20人)





ナザレ幼稚園・保育園 2023. 12. 14

《活動の主旨》

- ・クラスのともだちと関わり合い、一緒に遊ぶことができる。
- ・秋のカランコ山の自然を用いて、遊びを作ることができる。

《主な活動》

- ・カランコ山の自然に触れる（さわって、さわって・みつけて、みつけて）
- ・カランコ山探検
- ・どんぐりころころ遊び
- ・おなじはっぱを見つけよう
- ・落ち葉顔
- ・森のすみか

《子供たちの様子》

- ・ひとりが遊びを作るとそれに関わる子供たちが来て、遊びを広げる姿があった。（年長）
- ・「さわって、さわって」の活動は、繰り返すことで子供たちがお題を考えるようになり、その子なりの発想をみんなで楽しむことができた。
- ・「落ち葉顔」や「森のすみか」では、落ち葉やどんぐりに生命を吹き込み、まるで友達や自分の分身のように考え、ごっこ遊びができていた。
- ・先生方が一緒になって同じ活動をしてくださることで、子供たちと同じ場を共有して下さる姿があった。遊びに浸っている子ども達ひとりひとりをみて、声掛けして下さっていることに感謝です。

○今年度は、マイ探検コース（自分が考えたオリジナルコース）を一人一人が作っていただけると思っています。

友達同士で体験しあうことができるようになればと願っています。

○自然物を使って、遊びを作ることができ、その遊びを他の子と広げていくことができたかと考えています。

《来学期に向けてのお願い》

- ・遊び道具などそのまま放置されていたり、遊んだままになっていたりとあります。
- ・日程や時間の変更は、前日までにしらせていただくと助かります。



年間活動一覽



月日	りんご	なし	ぶどう	かなりあ・ はと	うさぎ。りす	くま・ぞう	デイジー ポピー	チューリップ	サンフラワー
2023 5/11						さわってさわ って でたぞでたぞ お山探検 生き物探し			さわってさわ って でたぞでたぞ お山探検 生き物探し
5/25	さわってさ わって でたぞでた ぞ お山探検	さわってさ わって でたぞでた ぞ お山探検 生き物探し	さわってさ わって でたぞでた ぞ お山探検 生き物探し		さわってさわ って でたぞでたぞ お山探検 生き物探し				
6/8						さわってさわ って でたぞでたぞ お山探検 折り紙バッタ 探し		さわってさわ って でたぞでたぞ 生き物探検 自然のクレヨ ン	
6 22 屋内					カランコ山の 木になあれ 生き物真似っ こ遊び お山の遠足				カランコ山の 木になあれ 生き物ジェス チャー お山の遠足
7/6						触って触って 崖のぼり自分 コース作り 泥団子づくり		触って触って 崖のぼり自分 コース作り 泥団子づくり	

7/20		カラコ山の木になあれ、崖のぼり自分コース作り、セミの絵本、羽化の動作化	カラコ山の木になあれ、崖のぼり自分コース作り、セミの絵本、羽化の動作化		カラコ山の木になあれ、崖のぼり自分コース作り、セミの絵本、羽化の動作化				
10/12						ドンダグリころころ遊びの日 ころころ坂 どんぐり遊び作り	さわってさわって、ひろってひろって がけを上って音を鳴らせ		
10/27	もも組 お山たんけん				さわってさわって、ドンダグリ遊び作り				
11/16				お山たんけん (たっぷり) 同じものを見つけよう		ぞう お山たんけん 森のレストラン			
11/30					くま お山たんけん 森のすみか	お山たんけん 落ち葉遊び	お山たんけん 落ち葉顔		



フィールドの様子・
活動の様子



カラシコ山でできたアレンジ 活動

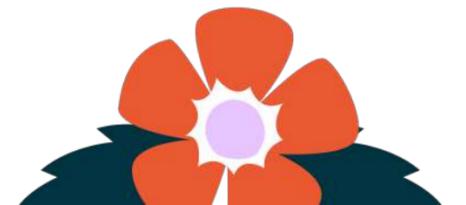
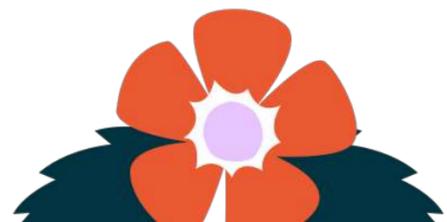




カランコ山でできたアレンジ活動



- ①カランコ山の木になあれ
- ②さわって、さわって
- ③カランコ山のお弁当・レストラン
- ④おーい、こっちこっち(セミバージョン)
- ⑤カランコ山の七夕
- ⑥カランコ山のクリスマスツリー等



アレンジネイチャーゲーム

- ①カモフラージュ(折り紙バツタ)
- ②同じものをみつけよう
- ③カラコ山のジグソー
- ④この色みつけ
- ⑤木の葉のカルタ取り
- ⑥森のすみか等





成果と課題



成果

- ・繰り返しの活動で、子ども達が「お題」を出したり、リーダーになったりすることができるようになった。
- ・崖のぼり等はじめは泣いてできなかった子も、他の子のチャレンジする様子を見て最後まであきらめずに自分だけの力でやり遂げるようになった。
他の子は、友達を応援するようになった。
- ・お山で何度か遊ぶうちに、木の根や枝をつかみながら登ったり、お尻をついて滑り降りたり、時には上手に転げ下りたりしながら身を守る術を習得するようになった。
- ・自然の素材で自分たちの遊びをつくれるようになってきた。
- ・活動中に、小さな虫や花を見つけるなど、自然への興味関心が高まってきた。
- ・虫が苦手だった子も、ダンゴムシで遊ぶことをきっかけに、虫に興味を持つようになった。
- ・年間を通して活動することにより、新緑や落葉、虫の様子など、季節の変化に気づくようになった。
- ・スズメバチに遭遇した時の対処法を、遊びを通して身に着けた。



課題(願い)

- 活動の体験を生かして、子ども達が「カランコ山の遊び」を創ってほしい。
- 学期ごとの活動目標を担任と共有し、当日の活動を協力しあっていきたい。
- 体験したことをもとに、担任と子ども達だけでのお山の活動ができるようになってほしい。
- 年に1,2度でいいので、カランコ山での活動の在り方について先生方に感想を聞く機会があるといい。





ご清聴ありがとうございました
ございます

